

第一回 「森林のしくみとその働きを知ろう」

◆ 静岡市の森の取り組みと木の話 長坂尚武氏（静岡市農林総務課）

《狙い》

静岡市の森について学ぶ

《要旨》

静岡市の森林面積や木材の生産量。そして木材のさまざまな使われ方をクイズ形式で学習。

◆ 森林のしくみと働き 片平成行氏（静岡県林業技術者協会）

《狙い》

自然の中で森林が果たしている役割と、林業の関係を学ぶ。

《要旨》

山の神に感謝をささげて、木を使わせてもらう。木にはオスとメスがあること。

ノコギリ、オノやヨキなど山仕事道具の話。

昔から、つちかわれてきた山と人間の関わりを、ユーモアを交えた興味深いお話。

◆ 工作学習「ヒノ木のメロディオン」 S-GIT スタッフ

《狙い》

間伐材を利用して楽器をつくり、木に親しむ。

《要旨》

あらかじめ用意しておいたキットを使い、1人1つずつメロディオンをつくる。

(1) 紙やすりで表面をきれいにする。

(2) カナヅチ、クギを使い組み立てる。

(3) ビー玉を入れて出来上がり。

第二回 「森を知り森でとことん遊ぼう」

第一日目

◆ 実習「森林を守り、育てること」 石垣正喜氏 (S-GIT)

《狙い》

山の仕事を実体験を通して理解するため、実際にチェーンソーで木を切る。
この時間は、翌日実施する間伐のための練習。

《要旨》

- (1) 山の仕事に関する講義
- (2) チェーンソーの始動方法、持ち方
- (3) 丸太の輪切り、立て切りなど
- (4) 薪割り体験 (専用器具、手斧)

◆ キャンプをしながら、昔の生活を体験する。

《狙い》

薪で夕食づくりと風呂を沸かし、昔の生活体験を通じて、昔の人の木と生活の関係を
知る。

《要旨》

三班に分けて作業。火は、マッチ等を使わずにつける。

- ・ 風呂沸かし班：薪で五右衛門風呂を沸かして入浴。
- ・ 夕食づくり班：囲炉裏でナンや竹めしをつくる。

◆ ナイトハイク 井戸直樹氏 (ホールアース自然学校)

《狙い》

灯りや騒音などのない真っ暗闇の森をハイキングし、自然と一体化するとともに、普段、
感じることもない自然を体験する。

《要旨》

キャンプ地付近の農道を、懐中電灯を点けずに歩く。

- (1) 闇に慣れる
- (2) 闇だから見えるものを見つける (蛍、天の川など)
- (3) 闇の中で音を聞く (虫の鳴き声、せせらぎなど)

第二回 「森を知り森でとことん遊ぼう」

第二日目

◆ 山の仕事を体験する S-GIT スタッフ

《狙い》

山の仕事を知る為、木を切り倒すことに挑戦する。

《要旨》

あらかじめ印をつけておいた木を間伐する。

- (1) すべり止めのアイゼンを装着して、歩いて山の中へ入る
- (2) 4つのグループに分け、お互いに安全確保できる距離をとり作業する。
- (3) チェーンソーで切る子どもは指導者と二人一組になって作業する。残りの子どもは木にロープを結び、引く用意をして合図を待つ。
- (4) 安全を確認する。
- (5) 倒す方向へ受け口の切り込みを入れる。
- (6) 切り込みの少し上を、木の反対側から切っていく。
- (7) 他の木に引っかかって倒れない場合はロープを引く。倒れたら、指導者がいくつかに切り分ける。

※ 注意事項：使わないときにはチェーンソーのエンジンを切る。
声を出して安全確認する。

◆ 川体験 大武圭介氏（ホールアース自然学校）

《狙い》

川遊びを通じて、川と人間生活の関係を理解する。

《要旨》

■ イカダ作り&レース

- ・ 事前に用意した竹とロープ、ゴムチューブでイカダをつくる。
- ・ グループ対抗のレースを実施。

■ 水生生物観察

- ・ 水生生物を観察する。汚れたところにいる生物、きれいなところにいる生物などを調べる。

■ ワークショップ「川を汚したのは誰だ」

- ※ あらかじめ、カメラのフィルムケースにいろいろなゴミを入れて用意しておく。
透明ペットボトルに川の水をいれておく。
- ・ 川に関係する人々を一人一役を決めて演じる。
 - ・ 川遊びの人はゴミ、工事の人はタバコなど、順順に聞いていき、川が汚れていく様子を観察する。誰もが川を汚している事に気づく。

第三回 「身近な川、興津川を知ろう」

◆ 講義・実演「興津川の自然と人間の生活」 望月誠一郎氏（興津川保全市民会議）

《狙い》

興津川と市民生活の関わりを学ぶ。

《要旨》

講義と鮎の友釣り体験

興津川の概要、興津川流域に生息する水生生物や野鳥の話

清流の象徴・鮎の習性や鮎釣りの仕掛け、釣り方の話

■ 鮎の友釣り体験

実際に友釣りを体験した。それぞれが鮎釣り名人の指導を受けながら挑戦したがなかなか思うようにいかず、天候が悪かった事も重なり、成果は一匹で終わった。

◆ 「川のほとりに理想の町をつくる」 大武圭介氏（ホールアース自然学校）

《狙い》

人間生活・まちづくりと川・自然との調和の難しさに気づく。

《要旨》

3グループにわけ、一人一役で、地図の上に「道路」「家」「工場」などを配置する。